

## 授業の具体的展開例

T : では、教科書の下段にある問題を考えてみましょう。まずは「よく」の問題から考えましょう。

C : (考え中)

T : では、「よく」の意味を説明してください。

C : ①は「ぐっすり」という意味だと思いますが、あとの二つはうまく説明できません。

T : どうすれば、説明できるようになるでしょうか。

C : 辞書の説明を参考にしたら、説明できると思います。

T : なるほど。ちょうど、ここに辞書の説明を拡大したものがありません。ではこれを見ながら考えてください。

C : ①の「よく」は、辞書の説明では①に当たります。

C : ②の「よく」は、……

T : ところで、この辞書の説明を見て何か気付いたことはありませんか。

C : 説明だけだとよく分からないことも、例文があるのでよく分かります。

T : そうですね。多義語は文の中で使われてはじめて、意味が分かるのでしたね。辞書に例文が載っているのはそのためでもあるのでしょうかね。

T : では、今日の授業で習った、多義語を使ったクイズをグループで作ってもらいます。

………

## 「活用」の力を育てる評価の工夫

本時は、普通教室でも実施可能であるが、学校図書館を利用すると、以下のような利点がある。

- ①辞書などの資料がすぐに使える。
- ②作業スペースが広い。
- ③クイズ大会の雰囲気を作りやすい。

資料の活用や作業の中で、多義語について理解を深め、語感を磨かせたい。



## 「活用」の力を育てる評価の視点

・グループでクイズを作成する際に、多義語についてよく理解し、論理的に発言している。

・資料を活用する場面では、単に辞書を引き写すだけでなく、例文などを手掛かりに語感を磨き、語彙を広げている。

本時の流れへ

評価問題

HOME

単元の流れへ

## 板書例

▼ 次の文の（ ）に入る語を「つける」の意味を考えて、  
□の中から選ぼう。  
………  
①手に（ ）をつける。

辞書の説明を拡大したもの

よく(副) (形容詞「よい」の連用形)  
①その行為を……「―考えた方がよい」  
②ちょっとした機会に……「―ある話だ」  
③……

辞書も例文を使って説明している!

多義語

|| 一つの語で多くの意味・用法をもつ語

\* 文の中で使われてはじめて、具体的な意味が理解できる

「対義語・類義語・多義語」